

広報

いまり

市の人口
4月1日現在
総人口 63,216人
男 29,752人
女 33,464人
世帯数 15,010世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

○毎月1日発行 定価1部5円 昭和44年5月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

No.181



一市赤ちゃんコンクール一

(4月16日伊万里玉屋で)

市赤ちゃんコンクールは 各町から選ばれた60人が参加して4月16日伊万里玉屋で開かれました。

審査の結果、次の入賞者が決まりました。

- 1位 口石芳裕ちゃん 東山代町長浜
- 2位 原口京子ちゃん 波多津町浦
- 3位 牟田博之ちゃん 松浦町東分

広報こよみ

- 5日 国見台陸上競技選手権大会 つつじ祭り
- 6日 大野岳自然公園開き
- 8日・22日 交通事故相談
- 12日 文化講演会
- 16日 法律相談

17日 南波多・大川・松浦青年団の市内施設めぐり

18日 スポーツ少年団大会

25日 市民大運動会

☆つごうによって変更することがあります。

☆あなたの町や部落で面白い話題がありましたら市役所秘書企画課広報統計係へお知らせください。

伊万里市は交通安全宣言都市です

急停車されてもよい距離よい速度

5月

市政功労者60人を表彰

市制15周年記念式典

市制施行15周年記念式典は、4月1日、10時から、各団体代表や一般市民500人の参列をえて、伊万里中学校で開き、市政功労者60人の表彰を行ないました。

山口市長は、「15年の間には、多くの苦難があったが、市民をはじめ先輩・関係機関の指導協力で大きく成長した。これからは多くの大事業をかかえている。社会情勢に適応させ、将来の見通しをあやまらず市民福祉の向上に努める覚悟だ。より以上の理解と協力をお願いしたい」と述べました。

また、式典の記念行事として、陸上自衛隊九州補給処音楽隊(25人)の演奏も行ないました。

表彰を受けた市政功労者

◎議員として多年地方自治の発展に貢献した者

▶故西山実(東山代町) ▶中島八郎(大坪町)

◎職員として多年地方自治の発展に貢献した者

▶小旗松雄(黒川町) ▶田中和助(波多津町) ▶黒川実雄(瀬戸町) ▶深江貞雄(山代町) ▶伊東勝見(松浦町) ▶田中繁一(山代町) ▶米沢兼助(黒川町) ▶池田一郎(二里町) ▶松尾竹四(木須町) ▶牧瀬良四(山代町) ▶

大久保 弘(伊万里町) ▶古川功(波多津町) ▶小山 智(二里町) ▶川本ハナヨ(波多津町)

▶川久保袈裟雄(山代町) ▶中島孝(大坪町) ▶桑原健次(東山代町) ▶山口 晃(松浦町) ▶野村文彦(脇田町) ▶岩橋鉄次(松島町) ▶立川友二(木須町) ▶大浦志成(大川町) ▶中村俊介(二里町) ▶岩永房一(南波多町)

◎多年教育・産業・社会・文化その他公益に関し業績顕著な者



15周年を祝う記念式典

◀教育文化▶ ▶原口 巷(松浦町) ▶瀬戸貞治(黒川町) ▶栗田 貢(大川町) ▶岩永 貢(山代町) ▶原田利惣次(山代町) ▶古賀正遠(伊万里町) ▶故高添よね(大川町) ▶松本千代作(大坪町)

◀衛生▶ ▶加唐宗五郎(松島町)

◀産業▶ ▶松園春美(黒川町)

▶福永常明(南波多町) ▶宮本岩津久(大川町) ▶力武源次(大坪町) ▶立石長七(東山代町) ▶市川光春(大川内町) ▶小笠原長春(大川内町) ▶和嶋熊太郎(黒川町) ▶松本良市(東山代町)

◀社会福祉▶ ▶松田虎之助(瀬戸町) ▶川本吉三郎(山代町) ▶西 貫之(山代町) ▶小野智照(東山代町) ▶世戸ミキ(伊万里町)

◀消防▶ ▶小川光次(伊万里町)

◎市政に対し顕著な功労があった者

▶前田喜一(南波多町) ▶瀬戸口市郎(伊万里町) ▶脇山澄子(伊万里町) ▶尾崎末三(伊万里町) ▶岩永綾太郎(山代町) ▶山口勝二(山代町) ▶故梶山 茂(横浜市) ▶川原鶴次(松島町) ▶八山繁雄(立花町) ▶多久島辰次(東山代町)

文化講演会 5月12日

伊万里青年会議所の主催で、文芸春秋「文化講演会」が開かれます。

▶日時と場所

5月12日 18時から
伊万里学園高校体育館

▶演題と講師

人さまさま 河盛好藏氏
苦難の中の人生 黒岩重吾氏
わが師 わが友 杉浦幸雄氏

状態が感ぜられることである。
◆人間は完全なものではないので、懸命に努力しても失敗があるかも知れない。しかし、懸命にやってもなお失敗したときは、卒直に反省し、再び失敗を繰り返さないように努力すること。それがたいせつである。そうすれば、その人に対して「馬鹿」というレッテルははられない。
◆なぜなら、人間が不完全である以上、当然、許されるべき圏内というものがあるからである。ところが、その許されるべき圏内を逸脱しているながらそれを当然視し、その上得意然と構えてはばからない者がある。
◆この諺にいう「馬鹿」とは、そういうふうにもならない部類の人をいっているに違いない。
◆桜と梅で枝の落しちがいがあつたら、早くあらためるべきで、早くあらたむれば桜も梅も翌年には更に、さかえる道も開けてくる。「馬鹿」になつてしまつては、人間ばかりでなく、その被害は桜にも梅にもおよびその影響は大きくなつていく。

ことし中央公民館を建設

文化センターの敷地買収進む

伊万里川拡幅事業で移転を余儀なくされる伊万里公民館・図書館を含めた中央公民館を建設します。

敷地は、伊万里小学校の裏 9,900平方メートル（3,000坪）です。ここに、中央公民館のほか市民会館・老人福祉センターなどを建設して、文教施設を集中、文化センターとしての機能を備える計画です。

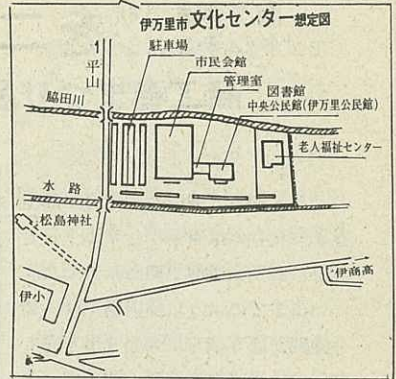
ことしは敷地の買収と中央公民館を建設します。総事業費は、約6,000万円をみこんでいます。

中央公民館は、鉄筋コンクリート

2階建て、建物面積 867平方メートルです。1階は、事務室・料理室・200人収容の大会議室など、2階は100人を収容する図書館・郷土資料室・小会議室・和室などを計画しています。

市民会館・老人福祉センターは、財政計画とも関係があり、来年度以降に建設することになります。

文化センターの敷地 9,874平方メートルは、地主9人の協力を受けて



買収交渉を進めています。

文化センターの位置は、市街地や都市計画街路整備事業で予定している駅前線・延命橋線・松島～立花線の交差点に近く、将来は一層便利になることが考えられます。

大野岳でお茶会 自然公園整備もすすむ

初夏を思わせるような好天の4月20日、大野岳自然公園で、お茶会が開かれました。

古川宗華さん・口石宗薦さん・源

右エ門さんの野点3席で、和服姿のお客さん約100人は、みごとなお手前と自然の美しさを楽しみました。

この茶会は、源右エ門窯伊万里工場で焼かれている唐津焼の宣伝と大野岳自然公園の紹介をかねて催されたものです。

大野岳（標高424m）は、昨年からは南波多町民の手で自然公園化が進められています。

園道造成やつつじ・黒ゆり植えなどは青年団・中学生・農協青年部などの奉仕で行なわれ、5月6日には公園開きをします。

市に入ることになります。



お茶と自然を楽しむ野だて

専売公社の新庁舎落成

日本専売公社伊万里出張所の新庁舎が立花町東門造寺に完成しました。鉄筋コンクリート造り2階建て350平方メートルで、2,400万円の工事費を要しました。

同出張所で扱うたばこは、年間約1億2,500万本、そのうち市内で、9,000万本を販売しています。

たばこの売り上げ実績で「たばこ消費税」が市に納入されます。

たばこ消費税は、市税総額の15パーセントを占め、固定資産税・市市民税について大きな財源です。

市外に旅行や出張するとき、市内のたばこ屋さんで買って行きましょう。20本入り1箱で平均12円が、

◆一つは、そういうあたりまえでないことをやりながら、したり顔で得意然としていたようですが感ぜられ、さらには、他人のすることには「馬鹿なこと」といってとがながら、自分も同じ愚を繰り返している

◆「馬鹿」という言葉のひびきの中には、もすこし世の中を風刺したものがあのように感ずる。

◆「馬鹿」というのは「あたりまえでない」ことであるから、この諺の意味は「枝を落してはいけない桜の枝を落し、思いきって枝を落すべき梅は、その枝を残している」というようにあたりまえでない人が案外多いということであろう。

◆桜といえば言葉は悪いが「桜さる馬鹿、梅さるぬ馬鹿」という諺がある。

◆ことしは、年あけから雨が多かった。幸いに桜の満開の時期には好天に恵まれ花の下は相当なにぎわいを呈していた。



商工春まつり を 二大祭りに トントン を 二大祭りに 商工春まつり反省会開く



にぎわった春まつり

市長・商工会議所会頭も
陶器市を視察



ことし初めて開いた「伊万里商工春まつり」の反省会が、4月1日と22日、商工会議所で開かれました。

いままでのように商店街やサービス機関がばらばらに大売り出しをしているのは商店街の発展は望めないため、市や商工会議所のおんどで組織を一体化して春まつりと取り組みました。

商工春まつり協議会や窯業振興協議会は、参加店のアンケートや反省会の結果をもとにして、トントン祭りとともに二大まつりになるように来年はより盛大に行なうことにしました。

窯業振興協議会の川副会長は、「新天地町・浜町など地元商店街の協力で予想以上の成果があがった。初めての催しでもあり反省すべきことも多いと思う。ことしを反省して来年に備えたい」と話しています。

市商工観光課は、「中元・年末大売り出しなども各商店街・機関が手を取りあって進めてほしい。その点から春まつりは成功だったと思う。期間中に陶器市を開いたこともよかった」と話しています。

めだつ宣伝不足

— 窯業振興協議会の反省事項

▶ 宣伝について

● 準備期間が短かく宣伝不足だった。来年からは、ポスターを作り、佐世保・長崎・北九州まで宣伝したい。宣伝パレード隊も出したがよい

● どこにでもある陶器市とはちがう。伊万里焼の陶器市であることを宣伝すべきだ。

● 外人客や熊本など県外客もあり宣伝すればもっと市外客を呼べる。

▶ 接客について

● 熱のはいった対応・呼びこみが少なかったと思う。

● 卸売業者が主体であったため小売りの客扱いにふなれた。

▶ 商品と陳列について

● 商品を質量とも豊富にしてほしい。

● 業者は、陶器市にあまり期待していなかった。来年は、ことしの売り上げ状況からみて、もっと商品も豊富になると思う。

● 高級品は高級品らしい陳列法を考えるべきだ。

● 売り台は、連続させ、川ばたまでのばすべきだ。感じもよいし、客もよりつきやすい。

▶ その他

● 駐車場の案内表示をせよ

● 無料休憩所を設けよ

● 伊万里焼の宣伝広告塔は、二里町だけでなく、山代町・南波多町などの国道沿いにも建てるべきだ。

● 特産品展示場を設けよ

● 都市計画街路の本町～上伊万里駅線を早く完成せよ。

苗木市も同時に開催せよ

— 春まつり協議会の反省事項

● 博多・飯塚方面にも宣伝し、20人～100人の団体を募集せよ。

● 有田陶器市と同時開催し、臨時

列車も運行するようにせよ。

● 車両増加を考え駐車場を準備せよ。

● 学園高校で公演すれば、駐車場や坂道にガードレールをつけるなどを検討せよ。また、優待券は、収容能力や売り出し期間の長さを考えて発行すべきだ。

● 田主丸の業者にも呼びかけ、苗木市を同時開催するようにせよ。

● 慰霊祭なども春まつり期間に行なったがよい。

● ことしの春まつりは、市や商工会議所に引きずられたが、来年は、商店街が組織を強め盛り上げねばならぬ。

また、春まつり大売り出し参加店135店からのアンケートをみて、両協議会の反省事項と同じような結果がでています。

電気豆知識

クーラーの申し込みは早めに

ことしの夏はルームクーラーで涼しく……とお考えでしたら早めに電気工事店か九州電力へお申し込みください。暑くなってからでは申し込みが多く、長く待たなければなりません。

屋外の電気設備の調査・引込線や変圧器工事などが必要なためです。

税金が納めやすくなる

特別徴集は12回差し引き

市民税の配偶者・扶養・基礎・老年者控除額などそれぞれ1万円の引き上げ・専従者控除の限度額を引き上げるなど税負担が軽くなりました。税率も、いままでの標準税率×1.3倍を1.2倍にしました。

給料から差し引く特別徴収は、いままでの10回差し引きから12回にふやし、1回当たりの納入額を減らします。

新築住宅に対する固定資産税の軽減期間を昭和50年1月1日まで延長します。適用される床面積も100平方メートル以下（いままでは85平方メートル以下）になりました。

自動車取得税は、取得価格が15万円以下（前年度までは10万円以下）であれば課税されなくなります。

した。

課税に対する不服申し立て期間は、いままでの30日間から60日間に延長されました。

市県民税・固定資産税・保険税の納期は、7月から来年2月までの8期です。第4期分までの納付書は7月15日に、第5期分以降は、11月1日に配布します。

前納すると前納報奨金ができます。前納するときは、印かんをご持参ください。

市役所の機構一部かわる

人事異動も発令

市議会だより

◎文教厚生委員会

4月8日・17日

- ・私立学校の助成に関する条例制定について
- ・日雇労働者健康保険の改正について

4月21日

- ・プール建設の地元寄付軽減について

◎建設委員会

4月11日・市道の幅員拡張工事について

- ・公有水面埋立について

◎産炭地振興調査特別委員会

4月23日

- ・長浜ダム建設について

市役所の機構が一部かわりました。ことしから始まる工業用水道建設のために工業用水道室と市役所事務の合理化をすすめるため秘書企画課に事務管理係を新設しました。

建設課管理係と庶務係を統合して管理係としました。

機構の一部改革と長野会計課長の退職に伴う人事異動は、4月1日付で発令されました。

係長以上の異動は次のとおり

- ▶会計課長事務取扱=田中藤太(収入役)
- ▶工業用水道室長=松尾竹

四(課長補佐待遇・財政課長補佐兼用度係長) ▶市民課長補佐兼窓口係長=条島勝(同補佐兼市民相談係長) ▶秘書企画課兼事務管理係長=松園家晴(同課広報統計係長)

▶市民課市民相談係長=山口清三郎(同課整備係長) ▶建設課管理係長=福田幸吉(同課兼庶務係長)

▶自治中学校入校=田中俊輔(議会事務局庶務係長) ▶退職=長野敬太郎(会計課長) 同=須藤心市

(総務課付)

ロードローラーを購入

道路舗装工事に威力を発揮

市道舗装工事の能率向上のためロードローラー(140万円)とアスファルトプラント(104万円)を購入しました。

いままでの舗装工事は、砂利や砂をまき、ローラーをかけ、乳剤をまく方法で4~5回くり返していました。

この方法は、材料置場に困る・冬は工事ができない・工事期間が長びくなどの欠点があります。

購入したアスファルトプラントは常温混合式という舗装材を作る機械です。いま八谷搦の衛生処理場近くに備え、舗装材を作っています。できた舗装材は、トラックで現場へ運ばれ、ロードローラーで固めています。

このほか、ことしは、400万円のグレーダー購入も予定しており、市政の重点施策の一つである道路整備は急速に進むこととなります。

購入したロードローラー



市政モニターの意見91件

朝市時間制限などの口火となる



昭和43年度、市政モニターとして活動したかたの会合を、3月31日に開きました。

山口市長と竹内助役の市政現況説明と意見・質疑応答を行ないましたおもな意見は、次のとおり。

▶水道は、メーター使用料を毎月50円徴集しているが、電気やガスは徴収していない。メーター計は、あるていどの期間徴収すれば原価償却できるはずだ。

(こたえ) ことしの4月から申し込み手数料や共用せんかぎ再交付手数料など廃止した。将来は廃止を検討すべきだ。

▶市育英資金制度の対象者は、教員になる者に限定して貸しているが、市内就職予定の学生にも貸すべきだ(こたえ) いままで、伊万里がへんびだったため教員の確保がむずかしかった。教育長と話し合いたい。

▶県道・市道への労力奉仕は規則に従って行っているのか。

(こたえ) 道路愛護週間中は、あるていどの奉仕料をだして労力を提供してもらっていたが、いまはやめている。

▶市職員の事務量は、繁閑がありすぎるようだ。

(こたえ) 季節的にいそがしい職場もあるが、たえず事務改善を図っている。

▶ごみ収集業者への指導はどうしているか。

いる。

巡回指導も行なっている。

▶交通安全指導員は、指導力のある若い者がよいと思う。委嘱の基準や教育はどうしているか。

(こたえ) 交通対策協議会支部の推せんをうけて委嘱している。指導は警察官にお願いしている。

▶町部から市街地へ就職している者は、消防車が自分の町の方へ走ると不安である。周知の方法はないか。

(こたえ) 農村部は、有線放送を利用できるが、市街地の火災周知方法も検討する。

▶みかんは、農産物での成長作物といわれながら、今日の見通しは暗い。不安である。生産者・農業団体と話し合って市農業の将来の方向づけを決めてもらいたい。

(こたえ) 国は、食糧生産を抑制し

ようとしているが、佐賀県は、うまい佐賀米をつくるための品質改善を図ろうとしている。

みかんは、市場の話によると生産過剰ではないようだ。くされない・うまいみかんを生産し、計画的に出荷すれば、市場も仲買人も引き受けるとのこと。そのため、有田・西有田・伊万里の指導体制の一本化・貯蔵性の確保・計画出荷による価格維持対策をとりたい。

酪農は、まず、飼料作物増産を行ない、現在50%の自給飼料を70%まで引き上げたい。草地も現在の2倍500ヘクタールにしたい。

国が計画している第二次農業構造改善事業の実施までにこんごの方向を検討する。

昭和43年度の市政モニターから寄せられた意見・苦情などの「たより」は、全部で91件ありました。

建設課関係20件・秘書企画課12件総務課・商工観光課関係がそれぞれ9件などです。意見のなかには、横断歩道の設置・朝市の時間制限実施など、モニターの意見が口火になったものも多数ありました。

〔とい〕 慰れい祭はいつまでもつづけるのか
郷友会員の一人として
毎年、戦没者慰れい祭が盛大に行なわれることを喜んでる。しかし、旧来のろう習がまだ残っている。改めることはできないか。
(一) 各宗派とも四十九年忌が最後の法要であるのに慰れい祭はいつまでも行なわれてい
る。日清・日露戦争は、すでに六十年から七十年もすぎている。元費節約の意味からも没後四十九年以上になるかたの慰れい祭は廃止すべきではないか。
(二) 遺族が転出してのるのに慰れい祭が行なわ



が実際は百四十柱ぐらいた思われる。このような例は各地区にあると思う。やはり廃止すべきではないか。
一市民
〔おこたえ〕 (一) 市主催の戦没者慰れい祭は、各町ごとに年一回行なっています。お招きするのは、明治・大正・昭和三代の戦没者の遺族です。
ご意見のように各宗派の法要は四十九年限りですからそれ以上のかたの慰れい祭を市で行なうことの可否については検討をすすめています。
(二) 遺族が転出すれば対象から除くため英れいの数も少なくなります。ただ遺族数と英れいの数は一戸二柱のこともあり一致しません。

前山福祉事務所長

伊万里市は、昭和42・43年度、総理府の青少年育成国民運動推進地区に指定され、その運動を進めてきました。

市青少年問題協議会は、同協議会が発行した「青少年育成市民運動活動実践集」で青少年の育成について次のようにまとめました。

市は、青少年の健全育成のために家庭づくり・青少年団体活動の促進と指導者の養成・補導体制の一体化市民意識の高揚と実践活動の促進を四つの柱として活動してきました。

家庭は、いこいの場であり、人間形成の最もたいせつな基盤です。

そのため、13地区に家庭教育学級を開設、540人のおかあさんが家庭の機能と教育的役割り・子どもの発達段階と性格形成・しつけの問題などを学習しました。

親子で話し合いの場を

学習した人は、「子どもをりっぱに育てるには、親・家庭がよくならないとかなければならない。子どもは、両親の思想・言動を身につけていくと思う。前向きの姿勢で心豊かな人間になるよう努めたいと思う」「親子の話し合いのたいせつさがわかった。一家あげて明るい家庭づくりに取り組みたい」と、学習の感想をのべています。

テレビの普及は、家庭内の対話をさまたげ、考えない人間をつくり出す恐れがあると問題になっています。わたしたちは、テレビをうまく利用し、家庭の話題として取り上げるとか、親子・青少年読書をすすめ、自主的学習を図る必要があります。図書館は、読書運動を進めるため移動文庫制度を設けています。

団活動で社会性を

現在、市内80の青少年団体の加入



者は、1万6,500人です。この団体は、青少年の社会性・市民性を高めるのに大きな役割りをもつため地域ぐるみの育成が望まれます。特に、健康で明るく、たくましく成長するために野外活動・主張の機会などを提供するようにしています。

また、指導者の養成が急務です。よく活動している青少年団体には、必ずりっぱな指導者がいます。

おとなの指導者が直接子どもたちのなかにはいるには限界があります。青年団が子どもクラブを指導するとか、子どものリーダーを育てるのも一つの方法と考えます。

人を指導することは、それそうとうの勉強もしなければならぬし、日常の行ないも正しくしなければならず、ひいては青少年自身の意識を高めることになります。

「家庭の日」

「三つのことば運動」を推進

しかし、青少年育成は、家庭や青

正しく理解しよう 三つのことば

市は、「三つのことば運動」をすすめています。このごろ、ありがとうを「あたりまえ」・すみませんを「お前がわるい」・どうぞを「おれがさきだ」というように考え違いをしているかがあります。

「ありがとう」「すみません」「どうぞ」などとゆっくりしては、きびしい生存競争に負けてしま

青少年団体・指導者だけでなく、市民各層がそれぞれの立場で参加することが必要です。市は、市内小中学校生・高校生からポスターや標語を募集し、公民分館などにそれを展示して意識の高揚に努めています。

こんごも「家庭の日」「愛のよびかけ」「事故防止」「環境浄化」「ありがとう・どうぞ・すみませんの三つのことば運動」を展開する必要があります。

「家庭の日」励行運動などが設けられたことは、現在そういう運動をしなければならぬ社会環境にあるということであり、「家庭の日」などを特別に設けなくてもよい社会にはやくなりたいたいものです。

青少年の非行発生の要因にもなる不良出版物は、青少年の目にふれないようにしましょう。家庭・職場などで好ましくない出版物は、焼却するか白ポストを設ける・良書を読むようにするなど協力してください。放置された遊休施設や軽食堂などは不良青少年のたまり場になりやすいものです。それらしいのを見かけたら注意してください。

青少年が次代の日本をになうものとしての誇りと責任を自覚し、その輝かしい未来をみずからひらき、希望に満ちた生き方ができるように、だれもが積極的に心がけたいものです。

うというのでしょうか。

「三つのことば」は、そのようなものではありません。人の行為にすなおにありがとうと感謝し、すみませんと相手の立場を認め、どうぞと自然に人にゆずるような心がけのことで、「三つのことば」を正しく理解し、平和でうるおいのある社会を作らしましょう。

安全指導を重点に 春の全国交通安全運動

5月11日から5月20日まで「春の全国交通安全運動」が行なわれます。運動の第一目標は、歩行者の交通事故絶滅です。歩行者・運転者・運転者の雇い主などみんなが正しい交通ルールを身につけましょう。

市交通対策協議会は、交通安全施設の整備と安全指導を重点的にとりあげます。

安全指導は、交通指導員・公民館学校・PTAなどの協力をうけ、次のようなことを行ないます。

- 正しい横断の励行と歩行者の保護
- 子どもの交通安全しつけの徹底
- 通学・通園時の安全の確保
- 老人の交通安全教育の徹底
- 飲酒運転の追放
- 自転車の正しい乗りかたの励行

そのほか、車両の完全整備と自動車対人賠償保険の加入促進・道路の正しい使用・踏みきりや横断歩道での安全確認など運転者の教育もすすめます。

安全施設の整備として、伊万里小学校と大坪小学校前に近く信号機ができます。また、ことし中に、延長730メートルのガードレールを設置します。波多津町辻～木場線・大坪町白野小物成線・二里町笹尾～川東線など9か所です。

交通事故から



新入児を守ろう

川東橋近くで行なわれた交通指導

「新入学の児童・保育園児を交通事故から守ろう」と市交通対策協議会の各町支部は、4月10日から16日まで登校時の交通指導を行ないました。

交通指導員・母の会会員・PTA公民館職員をはじめ、青年会議所会員も指導にあたりました。

伊万里青年会議所（北古賀幸造理事長・会員53人）は、二里小・大川内小・大坪小・伊万里小入口で会員がそれぞれ指導しました。

交通安全指導員決まる

ことしの交通安全指導員が決まりました。

指導員は、日常生活で正しい交通秩序が確立され、安全交通が習性化

するまで徹底させるために設けられています。交通対策協議会長が各支部から推せんした28人に委嘱します。

指導員の任務は、交通安全の指導と広報・道路や交通環境をよくする指導・学校安全教育への側面的協力交通安全についての情報意見の通報などです。

そのため、交通問題への理解があるだけでなく、時間的余裕・指導者としての能力をもち、しかも地域の実情に詳しいかたに委嘱しています

任期は2年です。報酬や手当などを支給しないため、ことしは、指導

員用の制服を支給する計画です。

交通安全指導員

- | | |
|----------|--------|
| 伊万里町木須東 | 山口 美代治 |
| 伊万里町浜 町 | 宗 泉 |
| 伊万里町瀬 戸 | 井手口 政己 |
| 伊万里町幸善町 | 古賀 常六 |
| 大坪町 | 二 股 健 |
| 大川内町平 尾 | 大久保 嵐 |
| 黒 川 町小黒川 | 杉山 八郎 |
| 黒 川 町長 尾 | 岩野 英二 |
| 波多津町 辻 | 吉田 町造 |
| 波多津町井野尾 | 古川 和吉 |
| 南波多町井手野 | 井 手 実 |
| 南波多町井手野 | 小松 正喜 |
| 南波多町水 留 | 原田 弥一 |
| 大 川 町大川野 | 栗田 俊幸 |
| 大 川 町筒 江 | 仲 尾 勝 |
| 松 浦 町桃 川 | 松尾 竹司 |
| 松 浦 町山 形 | 浦 田 泉 |
| 二 里 町川 東 | 原 庄 八 |
| 二 里 町作井手 | 中里 貞方 |
| 二 里 町大 里 | 米岡 広徳 |
| 東山代町長 浜 | 吉原 友悦 |
| 東山代町大久保 | 田中 三郎 |
| 東山代町 里 | 山 口 稔 |
| 々(二里町大里) | 西田 正二 |
| 山 代 町楠 久 | 山 口 勝広 |
| 山 代 町久 原 | 山崎 源一郎 |
| 山 代 町立 岩 | 川久保 勝念 |
| 山 代 町久 原 | 松永 健治 |

電話のかけかた ②

ダイヤルをまわすと、電話機から信号が送りだされ交換機は信号の指示にしたがって相手を選びます。

- ▶ダイヤルは正確に指止めまで
- ▶ダイヤルをムリにもどさない指止めまでまわしたら指をはなし

て、自然にもどしてください。ダイヤルがもどるときに信号を送ります。ムリに指でもどすとまちがってつながります。

▶ダイヤルはつづけて

ダイヤルの途中で5秒以上間をおくと切れることがあります。休まず最後までつづけてまわしてください。

家族揃って参加しよう

5月25日市民大運動会

5月25日(日曜日)9時から国見台陸上競技場で市民大運動会を開きます。昭和40年に第1回目を開催してから県民体育大会や災害復旧のためいままでも開きませんでした。

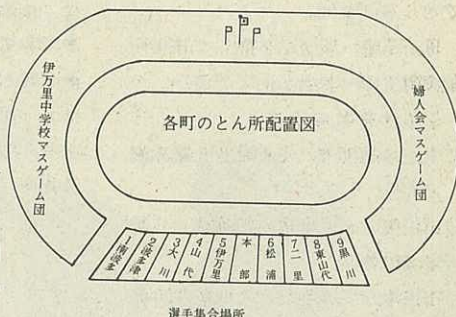
若い人もおとしよりもできるだけ多くの市民が運動会に参加して楽しむ体育祭です。

ご家族揃って参加してください。当日、雨天の場合は、6月1日に開催します。

年令別男女混合や学校別・婦人会職域対抗のリレーなどの競技のほかレクリエーションとして年令別に、ラッキー競走・風船はこび・カードあわせ・アメくい・ぶた追い・抽せん競走・むかで競走・ボートレースなどを計画しています。また、参加者全員で綱引き・フォークダンス・背の

ばし体操などをします。

市連合婦人会 600人の集団舞踊
伊万里中学校生徒 630人の集団演技
も市民の目を楽ませることでしよう。



4,000人の参加でにぎわう 伊万里町民大運動会



伊万里体育協会・伊万里公民館共催の第5回伊万里町民大運動会は、4月20日、伊万里中学校グラウンドで開かれました。

快晴に恵まれたため16チーム・4,000名ちかくの市民が参加、終日にぎわいました。

タイつり・小学生リレー・綱ひき
ラムネ早飲み競走など33種目にわたって、小学生からおとしりまで参加、各町も熱のこもった応援合戦をくりひろげました。

成績は次のとおり

- 1位 松島 4位 大坪西
- 2位 大川内西 5位 木須
- 3位 古賀

土器は、焼物の一つです。

「土を焼いて器を作る」ことの発見は、人間の食生活を大きくかえました。土器は、おもに貯蔵したり、ものを煮るのに使用され、食物の加工で、食生活が豊かになったと考えられます。

土器についての文様で時代を区分します。白蛇山遺跡で発見された土器は、縄文時代のなかでも前期のものほとんどです。

土器の文様は、3種類にわけることができます。土器のでる一番深い層は第4層です。ここで発見された土器が「押型文土器」で、文様は棒状のものに石器で文様を刻み、半乾きの土器に当てて文様をつけます。

同遺跡からは、山形文・楕円文の2種類ができました。初めは、約2,000年前の弥生式土器と考えられています。



図は、白蛇山遺跡から出土した土器の文様のいろいろ、右側の黒い線は断面図

したが、いまでは、縄文時代の一番古い時期約 8,000年前の土器とみられています。土器の最初のころのものです。

押型文土器と同じ層から出土するものに「茶痕文土器」があります。これには、貝の背の「ギザギザ」で

文様をつけており、口の部分には、「ツメ」で描いたような指突文があります。西・北九州ではめずらしい文様です。

もう一つは、ヘラのようなものでつけた規則正しい文様で、約 6,000年前、縄文時代の前期のものです。熊本県の曾畑貝塚で最初に発見されたため「曾畑式土器」といわれています。この文様は、西・北九州地方独特のものですが、朝鮮でも似たものが発見されています。

山形文
楕円文
押型文土器
土器の種類 条痕文土器

曾畑式土器

(6月号につづく)

筆者は佐賀市本庄町 森醇一郎氏
(県立図書館資料課勤務)

粉ミルクの無償配布

次のようなかたに、粉ミルクを月に2かん(1,000グラム)ずつ無料でさしあげます。

母子手帳・印かんを持って市役所保険衛生課へお出かけください。

ミルクをもらえる人

- 生活保護世帯の妊産婦と1歳未満の乳児
市民税非課税世帯の妊産婦と1歳未満の乳児
市民税が均等割だけの世帯の妊産婦で次の病気であることを母子手帳に記載してあるかた
妊娠中毒症・糖尿病・貧血
前置胎盤・胎盤早期剝離
切迫流産・子宮弛緩・胎盤残留による子宮出血など
市民税が均等割だけの世帯の乳児で次に該当するもの
乳児検診などで医師から母子栄養食品の支給が必要であると母子手帳に記載されたもの
生まれた時の体重が2,500グラム以下または未熟児の記載があるもの
乳児検診などで体重・身長などが小の区分に入ることが明かなもの

成人検診

成人病の早期発見と早期治療のために成人検診を行ないます。血圧測定・医師の診察・検尿などをします

対象者 40歳〜65歳の成人男女

日時と場所

14日 黒川町 16日 山代町

15日 波多津町 19日 松浦町

場所 各出張所

時間 13時30分〜15時

小児マヒ生ワク投与

対象者 昭和43年2月1日〜昭和44年1月31日までの出生児

料金 60円 市民税が均等割額だけ・非課税者・生保世帯は無料

日時と場所

5月13日 13,30〜14,30 松浦出

14日 13,30〜15,00 柳井町公

(大坪・大川内地区)

15日 13,30〜

15,00 婦人会館 (牧島・伊万里地区と東八・立目)

19日 13,30〜

15,00 婦人会館 (投与もれ)

- 次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申上げます。(敬称略)
社会福祉事業費へ
香典返しを寄付
五千元 林きみ子(仲町)
亡父喜一
壹万円 杵島 勇(黒川)
町小黒川 亡妻ヒサミ
壹万円 迎ツネ子(二里)
町瑞穂町 亡夫猛
壹万円 松尾俊市(大川)
内町正力坊 亡母ヨノ
貳万円 田尻俊市郎(西宮市上田勇町四の二一四号)
亡父常四郎



寄付
ありがとうございます

- 壹万円 市川ミツ子(木須東 亡夫満義)
参千元 桑原伊作(山代町久原 亡妻ツギ)
貳万円 古川鶴一(松浦町宿分 亡父四郎)
壹万円 松本茂則(波多津町浦 亡父善七)
参千元 馬場勝(大川内町大川内山 亡母タヨ)
五千元 中井サツキ(大川町川西 亡夫栄)
町 亡母ヤス
参千元 市川ミツ子(木須東 亡夫満義)
壹万円 藤田俊弘(松浦町桃川 亡父藤田喜代松)
五千元 江利禎起(大川町立川 亡父親)
壹万円 黒髪辰男(大川内町福野 亡父鶴七)
篤志寄付
壹万円 藤田孝碩(波多津町内野 内祝として)
五千元 瀬戸口信夫(脇田町 少林寺拳法伊万里道院開設記念)

山口印刷株式会社

- 五千元 山口好藏(山代町浦之崎 亡妻キサヨ)
五千元 江口敏行(南波多町井手野 亡父留治)
七千元 瀬戸実(黒川町福田 亡母ワカ)
壹万円 宮崎俊雄(山代町久原二区 亡母ハイ)
壹万円 前田豊造(黒川町横野 亡妻ヤスヨ)
参千元 林シズエ(山代町立岩 亡父虎吉)
篤志寄付
参百元 匿名(牛込局消印)
教育振興奨励基金へ
香典返しを寄付
壹万円 古賀稔康(蓮池町)
市庁舎建設基金へ
香典返しを寄付
壹万円 杵島勇(黒川町浦分 亡妻ヒサミ)
市民会館建設基金へ
香典返しを寄付
壹万円 古沢繁雄(浜町 亡長男昭二)
篤志寄付
参千元 川原鶴次(松島町)
(S44・4・19現在)
図書寄贈
伊万里図書館へ
溺れ谷ほか 相生町
前田マリ代
老人の思い出記録
瀬戸町 松尾吉之助

◎◎駅だより◎◎

観光団員募集中

四国観光団団員を募集中です。

希望者は、伊万里駅(電話3046)へお申し込みください。満員になりしだいしめきります。

期日と募集人員

5月19日〜25日 50人

会費 1万9,500円

6月には、北海道・7月には、秋芳洞と萩・くま川下りとえびの観光の予定もあります。

5月・6月は、特急・急行列車の寝台券・座席指定券が買いやすい時です。ご利用ください。

電話での申し込みも受け付けます。電話は、伊万里局3046番です。